



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 プリマハム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2281 URL <http://www.primaham.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松井 鉄也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役第一管理本部長 (氏名)前田 茂樹 (TEL)03-6386-1800
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	147,536	9.7	4,047	10.7	4,467	10.4	1,488	△35.8
25年3月期第2四半期	134,526	△0.9	3,655	△2.3	4,044	1.1	2,318	△9.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期2,278百万円(△13.2%) 25年3月期第2四半期 2,626百万円(△12.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	6.65	—
25年3月期第2四半期	10.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	111,865	44,017	33.0
25年3月期	110,637	42,251	32.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 36,899百万円 25年3月期 35,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	285,000	3.4	7,400	1.9	7,500	△5.3	4,000	△8.2	17	87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P4「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	224,392,998株	25年3月期	224,392,998株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	610,844株	25年3月期	600,169株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	223,788,264株	25年3月期2Q	223,812,163株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は平成25年11月22日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却を目指す経済政策や金融緩和策の期待感から、為替相場の円安や株価の上昇が進み、企業収益の回復、雇用情勢や個人消費の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調を示してきました。当業界におきましては、引き続き消費者の低価格志向による販売価格の低迷という厳しい事業環境下、ハム・ソーセージならびに加工食品の販売数量は堅調に推移しましたが、食肉においては牛肉や豚肉の消費に改善がみられるものの、円安や産地高による輸入食肉のコストアップや国産食肉相場の上昇により仕入コスト増となりました。また、原材料・包装資材・ユーティリティコストのアップや販売競争の激化など事業環境は極めて厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、諸施策に取り組み、収益の確保に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,475億36百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は40億47百万円（同10.7%増）、経常利益は44億67百万円（同10.4%増）、四半期純利益は14億88百万円（同35.8%減）となりました。なお、10月に発生したロールキャベツの自主回収に関連する費用として合理的に見積もった金額6億58百万円を特別損失に計上しております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの管理区分の変更をしておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

<食肉事業本部>

食肉事業本部においては、低価格商品が中心のマーケット展開など厳しい事業環境となりましたが、「ハーブ三元豚」、「味わい葡萄牛」などのオリジナルブランド商品の拡販や新規・深耕開拓に注力し、売上高・販売数量とも前期を上回る結果となりました。また、加工生肉などを生産するプロセスセンターを新たに稼働させ、今後の拡販に向けた基盤の整備も行いました。

この結果、売上高は494億93百万円（前年同期比29.1%増）となりましたが、仕入コストの上昇など採算の悪化により、セグメント損失は53百万円（前年同期はセグメント利益4億24百万円）となりました。

<加工食品事業本部>

(ハム・ソーセージ部門)

ハム・ソーセージ部門においては、引き続き「香薫あらびきポークウインナー」をはじめとする重点商品の拡販や世帯・生活スタイルの変化や利便性を考慮した新商品の投入を実施しました。また、得意先の新規開拓、プライベートブランド商品への取り組み、中食・外食向けの業務用商品についても開発・拡販に努めました。

生産面においては円安による原材料、包装資材、ユーティリティコストのアップなど極めて厳しい状況となるなか7月より順次商品価格の改定を実施するとともに、引き続き省力化・効率化投資を積極的に行い、商品規格数の削減、製造コスト削減、生産性向上を具現化し、コスト競争力強化に努めました。こうした生産・販売が一体となった取り組みの結果、ハム・ソーセージ部門においては前期を上回

る実績となりました。

(加工食品部門)

加工食品部門におきましては、お客様のニーズに応えるべくコンシューマー商品、業務用商品とも売上、数量の拡大に努めた結果、前期を上回る販売実績となりました。また円安により輸入商品の採算が悪化し、ハム・ソーセージ部門と同様に製造コストがアップしましたが、商品価格の改定を実施するとともに生産性向上に努めました。コンビニエンスストア向けのベンダー事業については引き続き店舗増と生産基盤の拡充、設備の高度化ならびに商品開発と確かな商品づくりを背景に収益を大きく伸ばしました。

以上の結果、加工食品事業本部（ハム・ソーセージ部門及び加工食品部門）においては、消費者の低価格志向および同業他社との競合激化という厳しい環境ではありましたが、売上高は978億91百万円（前年同期比2.0%増）となり、セグメント利益は41億7百万円（同23.0%増）となりました。

<その他>

その他事業（情報処理、商品検査等）の売上高は1億51百万円（前年同期比3.9%減）となり、セグメント損失は6百万円（前年同期は1億8百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12億27百万円増加し1,118億65百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が5億99百万円減少した一方、棚卸資産が19億55百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債については、前連結会計年度末に比べ5億38百万円減少し678億48百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が12億95百万円増加した一方、長期借入金（1年内返済予定を含む）が5億37百万円減少し、未払費用等のその他流動負債が10億26百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

純資産については、前連結会計年度末に比べて、主に利益剰余金及び少数株主持分の増加により17億66百万円増加し、440億17百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて29億31百万円減少（前年同期は30億98百万円減少）し56億3百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前四半期純利益37億99百万円や減価償却費22億84百万円を計上しましたが、棚卸資産の増加19億55百万円、法人税等の支払18億62百万円などにより営業活動における資金は28億16百万円増加（前年同期は53億35百万円の増加）しました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

主に生産設備更新および生産性向上、品質安定のため有形固定資産を取得したことによる支出33億

1 億円や長期前払費用の取得による支出 4 億 9 4 百万円により投資活動による資金は 4 3 億 9 1 百万円減少（前年同期は 3 2 億 4 6 百万円の減少）しました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

長期借入による 7 億 9 0 百万円の収入はあったものの、長期借入金 1 3 億 2 6 百万円の返済および配当金 4 億 4 6 百万円の支払などにより財務活動における資金は 1 3 億 7 4 百万円減少（前年同期は 5 1 億 5 9 百万円の減少）しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、平成 2 5 年 5 月 1 3 日より変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,886	5,964
受取手形及び売掛金	29,705	29,106
商品及び製品	9,790	11,708
仕掛品	330	373
原材料及び貯蔵品	1,214	1,209
繰延税金資産	611	664
その他	2,827	2,812
貸倒引当金	△16	△8
流動資産合計	53,352	51,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,484	17,936
土地	18,562	18,547
その他(純額)	9,628	11,402
有形固定資産合計	46,675	47,886
無形固定資産		
	828	879
投資その他の資産		
投資有価証券	5,007	5,216
前払年金費用	1,985	2,686
その他	3,170	3,786
貸倒引当金	△381	△422
投資その他の資産合計	9,781	11,267
固定資産合計	57,285	60,033
資産合計	110,637	111,865

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,812	32,107
短期借入金	1,304	1,251
1年内返済予定の長期借入金	4,440	4,198
未払法人税等	2,116	1,885
賞与引当金	1,134	1,255
役員賞与引当金	30	—
その他	9,839	8,812
流動負債合計	49,677	49,511
固定負債		
社債	20	—
長期借入金	9,249	8,954
退職給付引当金	4,035	4,120
資産除去債務	110	110
その他	5,293	5,151
固定負債合計	18,708	18,336
負債合計	68,386	67,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363	3,363
資本剰余金	3,964	3,964
利益剰余金	25,068	26,115
自己株式	△66	△68
株主資本合計	32,330	33,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,072	1,177
繰延ヘッジ損益	△8	△18
土地再評価差額金	2,396	2,390
為替換算調整勘定	△55	△26
その他の包括利益累計額合計	3,405	3,523
少数株主持分	6,515	7,118
純資産合計	42,251	44,017
負債純資産合計	110,637	111,865

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	134,526	147,536
売上原価	111,916	124,437
売上総利益	22,610	23,099
販売費及び一般管理費	18,954	19,051
営業利益	3,655	4,047
営業外収益		
受取利息及び配当金	59	62
持分法による投資利益	65	17
事業分量配当金	126	153
受取返戻金	187	140
その他	213	245
営業外収益合計	652	619
営業外費用		
支払利息	137	107
貸倒引当金繰入額	68	41
その他	57	50
営業外費用合計	264	199
経常利益	4,044	4,467
特別利益		
固定資産売却益	215	0
投資有価証券売却益	10	9
受取補償金	474	126
その他	2	0
特別利益合計	703	136
特別損失		
固定資産売却損	0	15
固定資産除却損	49	37
減損損失	235	—
製品自主回収関連費用	—	658
その他	20	92
特別損失合計	305	803
税金等調整前四半期純利益	4,442	3,799
法人税等	1,582	1,640
少数株主損益調整前四半期純利益	2,859	2,159
少数株主利益	541	671
四半期純利益	2,318	1,488

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,859	2,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	108
繰延ヘッジ損益	△4	△15
為替換算調整勘定	△98	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	29
その他の包括利益合計	△233	118
四半期包括利益	2,626	2,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,124	1,612
少数株主に係る四半期包括利益	501	665

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,442	3,799
減価償却費	2,239	2,284
減損損失	235	—
投資有価証券評価損益(△は益)	9	20
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67	33
賞与引当金の増減額(△は減少)	67	91
退職給付引当金の増減額(△は減少)	126	84
前払年金費用の増減額(△は増加)	△608	△701
受取利息及び受取配当金	△59	△62
支払利息	137	107
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	△9
持分法による投資損益(△は益)	△65	△17
有形固定資産売却損益(△は益)	△215	14
有形固定資産除却損	49	37
売上債権の増減額(△は増加)	△1,048	599
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△10	27
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,833	△1,955
仕入債務の増減額(△は減少)	2,999	1,295
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△51	△778
未払消費税等の増減額(△は減少)	△93	△173
その他	△75	16
小計	6,302	4,713
利息及び配当金の受取額	67	71
利息の支払額	△136	△106
法人税等の支払額	△897	△1,862
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,335	2,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,014	△3,301
有形固定資産の売却による収入	440	14
無形固定資産の取得による支出	△80	△194
資産除去債務の履行による支出	—	△41
投資有価証券の取得による支出	△509	△9
関係会社出資金の払込による支出	—	△216
投資有価証券の売却による収入	43	25
貸付けによる支出	△105	△173
貸付金の回収による収入	7	3
敷金の差入による支出	△16	△12
敷金の回収による収入	22	25
定期預金の増減額(△は増加)	23	4
長期前払費用の取得による支出	△57	△494
その他	△1	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,246	△4,391

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,206	△51
リース債務の返済による支出	△128	△191
長期借入れによる収入	1,000	790
長期借入金の返済による支出	△2,230	△1,326
社債の償還による支出	△42	△42
割賦債務の返済による支出	△42	△41
配当金の支払額	△445	△446
少数株主への配当金の支払額	△62	△62
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の売却による収入	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,159	△1,374
現金及び現金同等物に係る換算差額		
	△28	17
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,098	△2,931
現金及び現金同等物の期首残高	10,745	8,535
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,646	5,603

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	38,351	96,017	134,368	157	134,526	—	134,526
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,748	33	14,781	29	14,811	△14,811	—
計	53,099	96,051	149,150	187	149,337	△14,811	134,526
セグメント利益又は損失(△)	424	3,339	3,764	△108	3,655	△0	3,655

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「加工食品事業本部」セグメントにおいて235百万円の減損損失を計上しております。これは、遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額したものです。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食肉事業 本部	加工食品 事業本部	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	49,493	97,891	147,384	151	147,536	—	147,536
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,930	26	14,956	28	14,984	△14,984	—
計	64,423	97,917	162,340	180	162,521	△14,984	147,536
セグメント利益又は損失(△)	△53	4,107	4,053	△6	4,047	△0	4,047

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理、商品検査事業等を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度まで連結子会社であったプリマハム北海道販売(株)は同じく連結子会社であった北海道ミート販売(株)と札幌通商(株)を吸収合併し、同時にプリマハム(株)の北海道エリアの事業を引き継ぎ、北海道プリマハム(株)に社名変更しました。さらに同じく連結子会社であった東海プリマミート販売(株)は、プリマハム(株)の北陸エリアの事業を引き継ぎ、北陸プリマハム(株)に社名変更しました。上記グループ再編に伴う管理区分の変更により、従来「食肉事業本部」に含まれていた北海道ミート販売(株)と札幌通商(株)及び北海道エリアの食肉事業組織ならびに東海プリマミート販売(株)を「加工食品事業本部」の報告セグメントに含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。